

ほくと探訪 「根古屋神社」

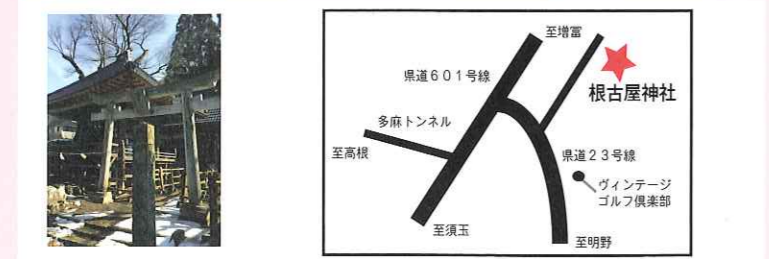
～北杜市の伝説とその舞台～
ねごとんじゃ

須玉町江草にある獅子吼城跡のふもとに根古屋神社があります。「根古屋」は、山城の麓にある城下町という意味があり、獅子吼城が築かれる以前は春日明神と呼ばれていました。

ここには「田木・畑木」と呼ばれる樹齢約1000年の大ケヤキが二本あり、毎年芽のつき方で豊凶が占われてきました。現在この二本の古木は、中が空洞化し樹勢は衰えています。樹脂や金属板で幹を覆う等の補強を経て今もなお美しい緑を楽しませてくれています。昭和33年に国指定の天然記念物にもなっています。

根古屋神社と切り離せない獅子吼城のはなし

獅子吼城は昔、江草城と呼ばれていましたが、落城の際、城内に住み着いていた怪物が獅子のように吠えながら淵へ飛び込み岩になったという伝説から、獅子吼城と名付けられました。



参考資料：『須玉町史 社寺・石造物編』須玉町史編さん委員会
『山梨県の歴史散歩』山梨県高等学校教育研究会地歴科・公民科部会
『やまなし史跡めぐり』山梨日日新聞社

開館時間・休館日変更のお知らせ

平成27年4月から、市内8図書館の開館時間と休館日を変更します。

《主な改正点》

- ①開館時間を短縮
- ②金田一春彦記念図書館に休館日を設ける。
- ③年未年始の休館日を統一

開館時間	
明野図書館 すたま森の図書館 たかね図書館 小淵沢図書館 ライブラリーはくしゅう むかわ図書館	午前10時～午後6時
ながさか図書館 金田一春彦記念図書館	午前10時～午後7時 ※7月第3月曜日～8月31日は、 午前9時～午後7時
休館日	
明野図書館 むかわ図書館	日曜日・祝日
すたま森の図書館 たかね図書館 ながさか図書館 金田一春彦記念図書館 ライブラリーはくしゅう	月曜日
小淵沢図書館	土曜日

●月末整理日（毎月平日の末日・7月を除く）
●年未年始（12月29日～1月4日）
●特別整理期間



やまねね便り

53号

特集
旅立つ君に贈りたい本



イベント開催報告 知的書評合戦 ビブリオバトル

平成26年12月14日（日）ながさか図書館において、北杜市で初めて中学生・高校生によるビブリオバトルが開催されました。

パトラ（発表者）7名（中学生2名・高校生5名）が、自分が面白いと思う本の魅力を5分間という決められた時間内で紹介しあいました。

発表のあとの質問タイム（2分）では、会場から「登場人物では誰が好き？」「どんな人に薦めたい？」「その本を選んだ理由は？」などの質問があり、熱弁が交わされました。

イベントを通して、人との交流が深まり、本の世界も広がりました。今後もさらに発展させ、多くの方に興味を持っていただきたいと思ひます。

今回のチャンプ本
北杜高校1年 古屋萌夏さん紹介
『午前0時の忘れもの』 赤川 次郎/著



ビブリオバトルって？

「本を通して人を知る 人を通して本を知る」をキャッチコピーに全国に広がっている知的書評ゲームです。

公式ルール

- ① 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。
- ② 順番に一人5分で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- ④ 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

ビブリオバトル普及委員会 公式ルールより

編集後記 今回はビブリオバトルを紹介しました。一方的に発表して終わりではなく、どんな質問が来ても即答するこのビブリオバトル。読書を通じて「人前で発表する力」という、今の時代に必要な生きる力も身につくのではないかと思います。（ひ）

あの人に会いたい
黒井健絵本ハウス館長 黒井 健さん

ほくとてくてく探訪
～須玉町 根古屋神社～

とびだせ！としよかんボランティア
～第8回 おはなしの会こだま～

イベント開催報告「ビブリオバトル」
開館時間・休館日変更のお知らせ

旅立つ君に贈りたい本

読むと、一步踏み出す気持ちになれる！

『「また、必ず会おう」と
誰もが言った。』
喜多川 泰/著 サンマーク出版



出会いが人生を
変えることもある！

ウソから始まった一人旅。その旅を通じて、いろいろな人と出会い、その日常生活に触れながら「生きる力」を学んでいく。一人の若者の成長物語。

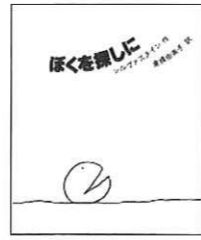
『人生はワンチャンス！』
水野 敬也/著 文響社



人生に迷ったら
手にとってみよう

人生は本当にいろいろで、考え方一つで幸せにも不幸にもなる。生き方に迷った時に読むと笑顔になれる一冊。

『ぼくを探しに』
シェル・シルヴァスタイン/著
倉橋 由美子/訳 講談社



きみもぼくも
不完全

足りないかを探してころがり続けるぼく。野を越え、海を越え、山に登りまた下る。時には穴に落ちることも…。人生の壁にぶつかった時に読みたい一冊。

『くじけないで』
柴田 トヨ/著 飛鳥新社



あなたの人生の
道しるべ

読めば場面が鮮やかに浮かんで見える詩。心にじんんとあたたかいものが感じられ、生きる勇気を与えてくれる。トヨさんのちょっとおちゃめな考えもステキで心が洗われた気持ちになる。

『ピアノ調律師』
M・B・ゴフスタイン/著
末盛 千枝子/訳 現代企画室



君が本当にやりたい
こと、みつけた？

おじいちゃんと同じピアノ調律師になりたいデビーと、もっと良い仕事に就いてほしいと願うおじいちゃん。将来の夢をみつけた人にも、悩んでいる人にもオススメの一冊。

『少女は卒業しない』
朝井 リョウ/著 集英社



「さよなら」の先の
明日へ

廃校が決まった高校、最後の卒業式の日。7つの物語が少しずつツングク、少女たちの気持ちが温かくも切なく描かれる。それぞれの想いが胸を打つ、別れと旅立ちの連作短編集。

『たくさんのドア』
アリスン・マギー/著・ユ・テウン/絵
ながかわ ちひろ/訳 主婦の友社



いつだってドアは
たくさんあるよ！
開く勇気さえあれば

待ちきれないドア、勇気が必要なドア、見失いそうなおドア。子ども達の未来にはどんなドアが待っているのだろう。そんな新しいドアを開けようとしている人へ…。見守ってきた人たちの愛が詰まった一冊。

『ルピナスさん』
バーバラ・クニー/著
掛川 恭子/訳 ほるぷ出版



一生のうちに
できること

おじいさんと交わした3つの約束。世界中を旅したおじいさんの話を聞きながらアリスは自分の将来を思い描く。小さな頃から志を持って成長したアリスが約束を果たすために探し続けた答えは？

『ウルトラマンと「正義」の話をしよう』
神谷 和宏/著 朝日新聞出版



正義って
いったいなに？

ウルトラマンは正義の味方。怪獣や異星人は敵。地球で悪事を働く者は排除する。しかし、それは本当の正義なのか…。ウルトラマンシリーズにある、勧善懲悪とは言い難い様々な物語を挙げ、正義と悪を考える。



あの人に
会いたい

黒井健絵本ハウス館長
くろい けん
黒井 健 さん

1947年、新潟県生まれ。新潟大学教育学部美術科卒。学習研究社幼児絵本編集部を経て、フリーのイラストレーターとなり、絵本・童話のイラストの仕事を中心に活躍。

新潟の色彩が絵本画家としての原点
小さい頃は割と体が弱くて、外遊
びより中で遊ぶことが多く、母のそ
ばで雑誌の付録を作ったりしていた
記憶があります。海の色、空の色、
空気感など、母が手を引いて一緒に
歩いてくれた風景が私の原点で、色
感も新潟にあります。

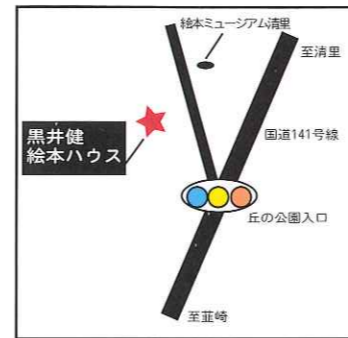
朗グセラ「ころわん」シリーズ
の誕生と最新作！
「ころわん」シリーズを描き始めた
時は、子どもたちも小さくて、ちよ
うど犬を飼いだしたころでした。こ
ろわんは犬の姿をしているけれども
好奇心に満ちたちよつと気の弱い男
の子のイメージで、飼われる犬とし
て描きたくないというのがありまし
たね。作家の間所ひさこさんと25
話作っていますが、基本的に作家と
は共通の理解をしてほしい、という
ことがあります。どの作品にも言え
ることですが：

人生の転機となった『ごんぎつね』
『ごんぎつね』は、この本がなかつ
たら今の私はない、といつもいい
作品です。それまで私は、絵本を子
ども向けに、頭を使って描いていた
んですね。それが『ごんぎつね』は
どうしてあの結末なのかかわらない
い、という物語への疑問と感動をは
つきり持って描いた作品でした。最
終的にはどう読み返しても、この表現
しかないと思ってしまう。その
後の自分の描いていく姿勢がすべて
変わった転機ともいえる作品です。

来たのですが、なんと気持ちのいい
所だらうというのが第一印象でした。
でも、まさかここに建てることにな
るとは思っていませんでした。そ
のうちにこの土地のオーナーが、絵
本関係の人なら土地を売っていい
ということ、これも何かの縁だと
思い、2003年に清里に絵本ハウ
ス建てました。おかげさまで来ら
れるお客様が心地いい所だと言っ
てくださいます。新潟に帰ると「何で
新潟じゃないんだ」と言われますが
：（笑）。やはり縁だと思えますね。

黒井健絵本ハウス
(~3/31まで冬季休館中)
TEL: 0551-48-3833
URL: <http://www.kenoffice.jp>

黒井健さんの代表的な絵本



『ごんぎつね』
新見 南吉/作
黒井 健/絵
偕成社



『ころわんどきどき』
間所 ひさこ/作
黒井 健/絵
ひさかたチャイルド

こちらから作家にお話のアイデア
を提供するということはあまりないの
ですが、今年は描きたいアイデアを
提供して「ころわん」の新作を考え
ているので、ぜひお楽しみに。
そして、これからのこと
出版社や作家からの依頼は別として、
自分が描きたい作品として心にあるの
は宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』です。
これは自分の中では仕事として割り切
れない作品です。実は一点だけ出来上
がっていて、昨年全国を巡回していま
した。今年はその一点を絵本ハウスに
飾る予定で、あと二点描きたいと思っ
ています。印刷された絵とは違う、原
画をぜひ見ていただきたいです。

とじだせ！ としよかんボランティア

～北杜市図書館を拠点に活動中の
図書館ボランティアを紹介～

第8回 おはなしの会 こだま

おはなしの会こだまは結成8年目を迎える読み聞かせボランティアです。子どもたちに喜んでもらうことを一番に考えており、読み聞かせだけでなく劇や手品など、レパートリーはとても豊富です。
たかね図書館の定例のおはなし会や季節ごとのイベント、障がいのある子どもたち、福祉施設、また公民館への出張なども行い、『語り』の活動を広めています。一緒に活動したい方、いつでも大歓迎です。



たかね図書館定例おはなし会



クリスマスおはなし会2014

おはなしの国

たかね図書館定例おはなし会
★3歳くらいから小学生のきみへ★
毎月第4日曜日 午前10時30分～

北杜市図書館ではボランティアを募集しています。興味のある方は、お近くの図書館までお問い合わせください。